

平成三〇（二〇一八）年度 法学研究科博士課程前期2年の課程 入学試験問題（一般選抜）

（科目名） ヨーロッパ政治史

一、戦間期のヨーロッパ諸国におけるデモクラシーの崩壊について、少なくとも二カ国を事例に取り上げて、政党システムの特徴、政権連合のパターン、政治指導の観点から、比較して論じなさい。（五〇点）

二、以下の用語を、ヨーロッパ諸国の歴史の中から具体的事例を取り上げて、説明しなさい。

（各二五点）

①寡頭政的議会制（Oligarchic Parliamentarianism）とクライアンテリズム（Clientelism）

②「負の統合」（“Negative Integration”）